

そう だい
総 題 「マルコによる福音書」



いとうひろし
伊藤裕史

はじめに

こんき
今期は「マルコによる福音書」を学んでいきます。イエス様が何者(誰)であるかを伝えるために書かれた福音書です。出来事を知るだけでなく、イエス様と出会い、一緒に進んでいきましょう。



だいいつ か ふくいん
第1課 福音のはじめ

いち あんそくにちご
1. 安息日午後

あんしょうせいく
[暗唱聖句]

ヨハネが捕えられた後、イエスはガリラヤへ行き、神の福音を宣べ伝えて、「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」と言われた。(マルコ1:14、15、新共同訳)

イエス様が人々に神様のことを伝えた最初の言葉です。今週、イエス様が人々にどのようなことを伝えようとしたか、ぜひ考えてみて下さい。

に にちようび しっぱい せんきょうし
2. 日曜日：失敗した宣教師

ガイドは著者である(書いた人のこと)マルコとはどんな人物であるかについて説明をしています。



パウロとその一行は、パフォスから船出してパンフィリア州のペルガに来たが、ヨハネは一行と別れてエルサレムに帰ってしまった。(使徒言行録13:13)

マルコによる福音書を書いたのはヨハネ・マルコと言われています。使徒言行録13章でサウロ(のちのパウロ)とバルナバの伝道旅行にいっしょに出かけています。(使徒13:5)でも、若いマルコはすぐにエルサレムに帰ってしまったのです(使徒13:13)。当時の伝道旅行は本当に難しいものだったにちがひありません。

さん げつようび なお きかい
3. 月曜日：やり直しの機会

パウロは、^{まえ}前に^{しゅう じぶん}パンフィリア 州で自分たちから^{はな}離れ、^{せんきょう いっしょ い}宣教と一緒に^{もの つ い}行かなかったような者は、連れて行くべきでないと考えた。(使徒言行録 15:38)

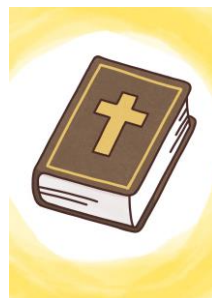


パウロは一度^{いちどに}逃げ出したマルコをまた伝道旅行に連れていくことに賛成しませんでした。しかしバルナバはもう一度^{いちどでんどうりょこう}伝道旅行にマルコを連れて行こうとします。そこでバルナバとパウロは別々に伝道旅行に行くことになったのです。

バルナバによって伝道旅行に行くチャンスをもらったマルコは、バルナバの信頼にこたえて大きく成長したのでしょう。いっしょに連れていくことに反対していたパウロでしたが、あとで書いた手紙の中で、マルコのことを大切な神の働き人と言っています。このマルコが福音書を書いたのです。

4. 火曜日：使者

マルコによる福音書 1:1 - 8 まで読んで見ましょう。



神の子イエス・キリストの福音の初め。(マルコ 1:1)

マルコ 1:1 はギリシャ語では「初めに」という言葉から始まっています。マルコによる福音書は、福音書の中で一番最初に書かれたものです。旧約聖書の創世記が「初めに」という言葉で始まっているのと同じです。新約聖書は旧約聖書を土台として書かれています。マルコが引用している旧約聖書が問5、問6に出てきます。いっしょに読んで見ましょう。(出エジプト 23:20、イザヤ 40:3、マラキ 3:1 です。)

5. 水曜日：イエスのバプテスマ

「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という声が、天から聞こえた。(マルコ 1:11)

イエス様がバプテスマをお受けになった時に何が起こったのでしょうか。天が裂けて、聖霊が鳩のようにイエス様に降って来られたのです。これは私たちのためにイエス様が地上に来られ、働きを始められるという大きな出来事でした。それだけでなく「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という宣言がされたのです。素晴らしい出来事です。しかしこれは今でも起こっています。皆さんがバプテスマをお受けになった時、同じ言葉が叫ばれたのです。

6. 木曜日：イエスによる福音書

イエス様が働きを始められ最初に伝えた暗唱聖句の言葉をもう一度見ましょう。



ヨハネが捕らえられた後、イエスはガリラヤへ行き、神の福音を宣べ伝えて、
「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」と言われた。(マ
ルコ 1 : 14、15)

イエス様は3つのことを言っておられます。「時は満ち」ということは約束の時がきたということです。また「神の国は近づいた」ということは約束が実現するということです。そして「悔い改めて福音を信じなさい」は神様が私たちを招いておられるということです。

旧約聖書に預言されている救い主がイエス様であることを信じ、神様があなたを招いていることを信じて、その招きにしがたいましょう。

7. 金曜日：さらなる研究

イエス様の伝道の最初の言葉は、終わりの時に私たちが伝えなくてはならない言葉に似ています。黙示録 1 4 章にある第一天使の言葉を思い出してみましょう。

「神を畏れ、その栄光をたたえなさい。神の裁きの時が来たからである。天と地、海と水の源を創造した方を礼拝しなさい。」(黙示録 1 4 : 7)

このメッセージの一番大切なことは、神様が私たちを招いておられるということです。この招きにあなただけでなく、あなたの愛する人といっしょにしがたいていましょう。

学びを振り返る質問：

1 マルコは最初の伝道旅行についていくことができませんでしたが、そのあとでチャンスが与えられました。皆さんは同じような経験をしたことはありませんか。

2 神様の招きにしがたいたくない、と思う時はありますか。それはどんな時でしょうか。